

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		企画業務費 [地域活性化包括連携協定に関する事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画課	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	企画		課		企画		担当	課長名	荒井 亮二		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市民の数(4月1日現在の住民基本台帳人口)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
この仕事の目的	地域の活性化及び市民サービスの向上を図る。				連携事業の実施件数(チラシ・ポスターの掲出を除く)						
	→										
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①毎月1回庁内各課を対象に調査を行い、(株)イトーヨーカ堂及び(株)セブンイレブン・ジャパンに連携を依頼したい事業(チラシ・ポスターの掲出、その他連携事業)を集約及び調整する。 ②3者での会議を月1回程度開催し、担当者間での情報共有及び連携事業の実現に向けた調整を行う。				会議の開催回数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	件	6	2	4					
	目 標	②の目標値	件	78	2	4					
		目標値設定の考え方 庁内各課から提案のあった連携事業について、実現に向けた検討を進める。									
活動指標	③の数値	件	12	12	12						
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	1,650,600	1,648,800	1,662,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		27 年度								
	(2) 環境の変化		・地域の活性化及び市民サービスの向上を目的に、平成28年2月12日(金)、東大和市、(株)イトーヨーカ堂、(株)セブンイレブン・ジャパンの3者で「地域活性化包括連携協定」を締結した。以降、それぞれとの連携事業の提案の有無について毎月庁内各課へ照会し、協定締結先との調整等を行っている。								

事業名称	企画業務費 [地域活性化包括連携協定に関する事務]				
担当部署・課長名	企画	課	企画	担当	課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・IY東大和店と連携して10月及び12月に実施した、わらべうたのおはなし会（乳幼児親子対象）においては、参加した親子より、「楽しかった、また来たい、図書館でこのような事業を実施していることを知らなかったため、新たな発見があった」といった声が寄せられた。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	・チラシ及びポスターの掲出以外の連携事業について、本協定がより地域の活性化及び市民サービスの向上につながるよう、引き続き協定締結先への提案を行うことが必要であると考え。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ・東大和市議会議員選挙及び市長選挙に係る店内放送の実施（IY東大和店と連携）、配送車等による道路パトロールへの協力（IY及びSEJ等と連携）、参議院議員選挙に係る店内放送及び店頭啓発の実施（IY東大和店と連携）、わらべうたのおはなし会（乳幼児親子対象）の実施（IY東大和店と連携）				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・調整はしたが、協定締結先や関係団体の都合により実現に至らなかった事業があるため、今後は確実な事業の実施及び実現を見据え、調整及び検討を行う必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・チラシ・ポスターの掲出以外の連携事業について、より多くの提案を実現できるよう、今後も協定締結先と積極的に調整していく。 ・チラシ・ポスターについては、お互いにメリットのある内容、確実に掲出してもらえる内容や要素を盛り込むよう、庁内各課への依頼の仕方を工夫する。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・本協定に係る連携事業について、引き続き庁内各課へ照会し、各事業に対する理解を深めることで、提案件数を増やし、少しでも実現可能性のある事業については、積極的に打診していく。 ・提案された連携事業について、主管課及び協定締結先との間で、調整会議の場にて調整を行い、実現に向けた検討を行う。				